

事務局便り

令和6年5月10日



—機関誌『家庭科』⇒『ZKK機関誌家庭科』名称変更について—

令和6年度第1号の機関誌をお届けいたします。表紙を見ていただくと“ZKK機関誌”という文字が入っていることにお気づきになられたでしょうか？本号より、機関誌の名称は『ZKK機関誌家庭科』と致します。この名称変更は以下のことが理由です。

日本家庭科教育学会誌第66巻第2号掲載の資料「SDGsに関連する家庭科の実践事例及び教師の家庭科観」小林陽子・大本久美子著（2023.8）では、SDGsに関する家庭科実践事例を分析していますが、分析対象事例30中15事例について、本協会機関誌『家庭科』の事例が引用されていました。しかし、日本家庭科教育学会誌の執筆要項では、雑誌についてはその発行元を記載する必要がないので、全国家庭科教育協会発行ということは明記されませんでした。そこで、ZKKの活動をアピールする意味でも、機関誌の名称に発行元である全国家庭科教育協会（ZKK）の文字を入れることを検討し、令和6年度第1号から、『ZKK機関誌家庭科』と名称変更することと致しました。

授業実践事例を年間11事例掲載している『ZKK機関誌家庭科』は、各学校での授業改善に資するとともに、今後も授業実践研究に多く引用されることを期待しております。

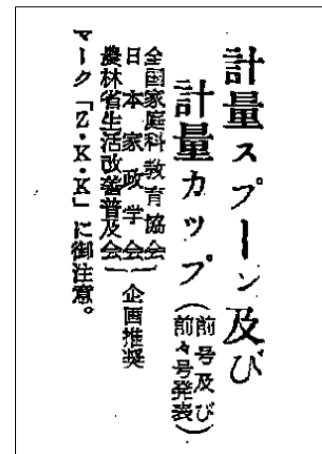
—略称 ZKK 決定の経緯—



昭和28(1953)年5月18日商標登録されたマーク

このZKKという略称について、その決定の経緯を再度紹介いたします。（令和5年度機関誌2号同封の事務局便りにも紹介しております。HP 機関誌・事務局便りのサイトからご確認ください。）

機関誌「家庭科」No.8～9(1951年8月発行)から、「計量スプーン及び計量カップ販売のお知らせ」が掲載され始め、機関誌「家庭科」No.12～13(1952年1月発行)には、右の宣伝が掲載されました。最後の一文を見ていただくと“マーク「Z・K・K」に御注意”と記載があります。機関誌「家庭科」No.10～11(1951年10月発行)の巻末に「以上全・家・協が出来ましてから急速に小、中、高の連絡の機会が多くなり」と記述があることから、ZKKの略称は、1951年10月以降に決定し、全国のZ、家庭科のK、協会のKであることがわかります。また、当時の副会長遠藤テイ氏の名前で、ZKKマークを商標登録した証明書が事務局内から発見されました。模造品と区別するために、略称を作成し、計量カップとスプーンにその印を入れたものと考えられます。さらに、本協会の「歩み」では、「調理用標準計量カップ・スプーンを制定、全国に配布 協会の略称をZKKとする」とあります。



ZKKという略称には、計量カップと計量スプーンを販売・配布して学校教育へ広めていた本協会の功績が隠されているのです。ローマ字読みの古臭い略称と思われがちですが、こんな経緯があったことを誇りに思い、ZKKという略称を使用していきたいと思えます。

—令和5年度春期研修会 ハイフレックス型開催 盛会にて終了—

令和6年3月26日の春期研修会は、会場参加：31名 オンライン参加：39名 計70名のご参加をいただきました。ありがとうございます。午前中は、有友愛子先生のご講義の他、小・中・高でのICT活用について本協会理事3名からも簡単に紹介がありました。午後からは、実際に持参したパソコンやタブレットを使用して、午前の活用法を実際に行ってみるといった内容でした。会場では、「ここどうするの?」「こんな使い方もあるのか!」など、パソコンを前にグループで学びあう姿がありました。参加者アンケートによると、ICT活用にお困りの方は多い様子です。参加者のICT活用の理解度によってグループ分けをするなど工夫をして、今後もICT活用の研修会について継続していきたいと考えております。

*詳しい内容については、7月10日発行の機関誌2号に掲載予定です。

—令和6年度 研究大会のご案内— *詳しくは、別紙案内チラシをご覧ください!

*第74回研究大会 8月6日(火)・7日(水) ハイフレックス型での開催

◎会場参加・オンライン(Zoom)参加のどちらかを選んでの参加です

※申し込み期間：令和6年5月20日(月)～7月26日(金)

別紙案内チラシの通り、第74回研究大会を開催いたします。表真美先生の諸外国の家庭科教育の講演や2年間をかけた研究成果の発表、そして、評価に関する校種別研修会と今年も盛りだくさんです。会場参加は、会場の広さの関係上、50名を上限としております。お早目のお申し込みをお願いいたします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

—令和6年度 夏期研修会 準備中— *別紙概要案内チラシをご覧ください!

「授業に生かす衣生活研修会」8月8日(木) 会場：東京都中央区立晴海中学校

「授業に生かす食生活研修会」8月9日(金) 会場：お茶の水女子大学附属中学校

日程と会場は決まっておりますが、研修内容は現在準備中です。別紙概要案内チラシは、現在検討中の内容です。ホームページ、メールマガジンで最新情報をお知らせいたします。

*シリーズ～全国家庭科教育協会の歴史(4) 全国高等学校家庭クラブ連盟の結成まで～

③全国高等学校家庭クラブ連盟結成大会とZKK総会について

機関誌「家庭科」No.32～33(1953年9月)に、「全国家高等学校家庭クラブ連盟結成大会」の記事が掲載されている。それによると、「全国家家庭科教育協会と関東地区の家庭クラブ都県連盟が結成の準備の中心となり、1953年8月6日7日にお茶の水女子大学講堂にて、高校生徒約二千五百余名の参加のもとに開会され、すべて生徒自身の手によって結成の運びとなった。」とある。衆議院参議院両院議長、文部大臣、アメリカ大使他が来賓として祝辞を述べるなど盛大な大会であった。そして、2日目の閉会后、全国家庭科教育協会(ZKK)総会(第4回)が開催されている。翌年の全国高等学校家庭クラブ連盟第2回(1954年)総会は、大阪府にて、ZKKと共催で実施している(全国高等学校家庭クラブ連盟の20年のあゆみより)。第3回(1955年)は新潟県で開催され、本協会「歩み」や機関誌の記述から、ZKKの第5・6回総会も大阪府と新潟県で開催されており、全国高等学校家庭クラブ連盟の総会と同日に開催したものと予想される。ZKKでは、1956年3月に講習会を開催することになり、その際にZKK第7回総会が開催された。この年から、全国高等学校家庭クラブ連盟総会とは会場・日程とも別々に開催され、現在に至る。

*訂正 令和5年度5号に同封いたしました『事務局便り』の日付が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。誤：令和5年3月8日 ⇒ 正：令和6年3月8日

